

金融機関等におけるプラス・セキュリティに関する取組み
オープンAPIをめぐるわが国の動向 ~現状・課題・展望~

日時:2023年4月27日(木) 15:00~16:10 入室14:40

会場:オンラインライブセミナー / 翌日以降アーカイブ配信(要事前申込)

受講料:FISC会員及び子会社の役職員(※)無料

一般 1,000円、教育機関 500円(消費税込)

※FISC会員企業の子会社については、申込フォームの備考欄に「子会社」と記載し、子会社であることが確認できる、ディスクロージャー資料、有価証券報告書が掲載されているホームページURL、又はホームページ上記載にて確認できる資料等について、ご記入ください。(別途メールにて送付可。確認できない場合は、原則として受講をお断りさせていただきます。ご不明な点等、ございましたらご連絡ください。

事前登録制

*動画視聴のみの場合も申込が必要です

15:00~15:05 FISCニュース 当センターの調査研究活動についてご説明いたします。



15:05~15:30 (質疑応答含む)

金融機関等におけるプラス・セキュリティに関する取組み

講師:角田 千明

(監査安全部サイバーセキュリティ対策室 研究員)

企業のデジタル・トランスフォーメーションの実現に向けた取組みが進むなか、一段と高度化・巧妙化するサイバー攻撃のリスクへ対応するため、すべての役職員がセキュリティを意識し、知識・スキルを身につける「プラス・セキュリティ」への注目が高まっています。本調査では、すべての役職員が一定のサイバーセキュリティ知識を身につけ、組織全体として適切かつ有効なサイバーセキュリティ対策を施すことをプラス・セキュリティと捉え、金融機関等におけるプラス・セキュリティに関する取組みについて、事例を紹介するとともに、事例を踏まえた当センターとしての考察をお示します。



15:30~16:10 (質疑応答含む)

オープンAPIをめぐるわが国の動向 ~現状・課題・展望~

講師:榎塚 望 (企画部 研究員)、泉 晋 (企画部 部長)

わが国では、金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語である「FinTech」が普及し始め、公的部門、民間部門の双方において本格的に取り組まれた2015年頃から、この「金融サービスと情報技術を結びつけたさまざまな革新的な動き」の1つとして、オープンAPIに対する社会的関心が高まり始めた。

本稿では、そうしたAPIの活用促進に向けたわが国の取組みを、環境整備の面から振り返るほか、「更新系API」などに係る関係者の近時の認識を整理したうえで、APIを通じたサービス向上に向けた今後の課題を示す。【4月公表予定】

- ▶開催方法: LIVE配信 Webex Webinars使用
- ▶申込方法: 4月5日より、当センターホームページ (<https://www.fisc.or.jp>) からお申込み下さい。別途、当日午前中までに、Webexより招待メールを送付させていただきます。
- ▶動画配信: 後日、動画配信いたします。アーカイブ配信視聴の場合も、お申込みが必要です。
※ご視聴にはPWが必要となります。セミナー終了後、視聴用PWをメールにて送付させていただきます。